

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合国語 I A		
科目基礎情報							
科目番号	0019		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	国語総合改訂版現代文編 (大修館書店)						
担当教員	久保 陽子						
到達目標							
論理的な文章、文学的文章を扱いつつ、国語の総合力を養っていく。作品の読解を通して自分の生きる社会や文化について考えを深める。自分の考えを文章にしたり、発表できるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	義務教育レベルの漢字を読み書きできる。		義務教育レベルの漢字を8割以上読み書きできる。		義務教育レベルの漢字を8割以上読み書きできない。		
評価項目2	評論文や文学作品を読解することが十分できる。		評論文や文学作品を読解することがある程度できる。		評論文や文学作品を読解することができない。		
評価項目3	作品に対する考察が十分にでき、それを自分の言葉できちんと表現できる。		作品に対する考察ができ、それを自分の言葉で表現できる。		作品に対する考察ができず、それを自分の言葉で表現できない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	論理的な文章、文学的文章を扱いつつ、国語の総合力を養っていく。作品の読解を通して、自分の生きる社会や文化について考えを深めていく。また作品に対して自分の考察をレポートに書いたり、発表したりしてクラスで共有する。						
授業の進め方・方法	義務教育レベルの漢字については、毎時、小テストを実施し、読み・書きの定着を図る。教科書の内容については基本的には講義形式だが、調べ学習や発表等、受講生から積極的な参加をうながしたい。						
注意点	受け身ではなく、積極的に授業に参加してほしい。授業内容については、状況に応じて受講生と相談のうえ変更する可能性もあるのでご了承ください。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 水の東西	文学を学ぶ意義について自分の言葉で説明できる。評論文を読み、全体の通読を通して文章の内容をおおまかに説明できる。			
		2週	水の東西	構成や表現に注意しながら、1段落の内容を整理できる。			
		3週	水の東西	構成や表現に注意しながら、2、3段落の内容を整理できる。			
		4週	水の東西	構成や表現に注意しながら、4段落の内容を整理できる。全体の主張を要約できる。文化の違いを調査し、説明できる。			
		5週	自分の感受性くらい	詩の基本的な知識や作者について説明できる。			
		6週	自分の感受性くらい	詩の細部の表現技法等に注意しながら、詩の内容を理解しながら読むことができる。			
		7週	短歌を詠す一言の壁を越えて	全文を音読できる。短歌や作者について説明できる。作者の他の作品についても味わい、表現技法や内容を理解できる。			
		8週	短歌を詠す一言の壁を越えて	構成や表現に注意しながら、1段落の内容を整理できる。			
	2ndQ	9週	短歌を詠す一言の壁を越えて	構成や表現に注意しながら、2段落の内容を整理できる。			
		10週	短歌を詠す一言の壁を越えて	翻訳という行為やコミュニケーションについて、文章を理解した上で自分の体験や考えを言える。			
		11週	コート	全文を音読できる。作者について説明できる。			
		12週	コート	構成や表現に注意しながら、1段落の内容を整理できる。			
		13週	コート	構成や表現に注意しながら、2段落の内容を整理できる。			
		14週	コート	構成や表現に注意しながら、3段落の内容を整理できる。全体を要約できる。			
		15週	期末試験	これまでの復習と定着を図る。			
		16週	期末試験の解答・復習	答案返却。これまでの復習と定着を図る。自己の学習到達度を知る。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	20	0	20	100
基礎的能力	40	0	0	20	0	20	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20
---------	----	---	---	---	---	---	----